

富山県 富山市

【活動概要・効果】

☆住民、行政、民間団体が一丸となった通年観光のための取り組み

○全国的に有名になった「おわら風の盆」「曳山祭」等の伝統文化のみに安住することなく、より一層の魅力ある地域づくり、地域の活性化を図るため、おわらを通年観光化し、地域交流型、観光型イベントを継続的に開催するとともに、白壁、石畳、格子戸の伝統的街並み、景観の保全に取り組んでいる。

☆八尾の伝統的な街並みに現代アートを展示する「坂のまちアートinやつお」は、町民の文化意識を高め、まちの活性化と芸術文化の振興、伝統文化の継承に寄与している。

☆住民、行政、民間団体が協力した多彩なイベントが奏功し、「おわら風の盆」の時期の観光客数は毎年25万人程度で安定している一方、通年の入込数が2000年以降一気に増加している。さらに、伝統芸能の観光イベントは、地域住民の芸能技術向上、継承、後継者育成の場となっている。



おわら風の盆

《人員確保での工夫・苦労》

坂のまちアートもスタートから10年以上が経過し、町に定着してきていますが、もともと町の将来を憂えた少数の有志により行事が立上げられ、それら中核メンバーも固定化し、高齢化してきているのが現状です。

今後、おわらや曳山祭とともに真に八尾に根付いた行事とするためにも運営の組織的運営の強化に向けた新たな担い手の育成が課題となっています。

伝統文化の保存継承と地域の活力維持に向けて今後こうした問題への取り組みが一層重要になると思われます。

《活動資金確保での工夫・苦労》

地元住民や事業者にとって八尾の伝統文化に対する愛着や保存継承への意識が高いことから、おわら風の盆、曳山祭、坂のまちアート等の実施にあたっては、行政や越中八尾観光協会からの支援に加え、地元事業者・店主等の協賛による部分も大きくなっています。

協賛については、会場となる地元商店街に加え、工業団地の企業等幅広い業種から募るとともに、近年は八尾町内のみならず、合併によるスケールメリットも生かして、市全域からも広く募り運営の一助としています。

【現場の声】

「坂のまちアートinやつお」については、アートは美術館という固定観念を捨てて、町屋や通りといった生活空間を展覧会場とした美術展との斬新な発想で取組んでいるのですが、当初は地域の方にとっても初めての試みということもあり、会場を貸してもらうにも苦労がありました。今日ではおわら風の盆、曳山祭に続く大きな文化イベントとして定着してきており、往時の賑わいを思い起こすことができる町の方からも評価いただくようになりました。

また、おわら風の盆前夜祭、風の盆ステージ、越中八尾冬浪漫等のおわらの通年観光化への取組みと併せて、あらたな賑わいづくりと街の活性化において一定の成果をあげてきていると感じられます。



伝統的景観づくり 夢あかり